

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	㊐・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全体的な計画は、園の理念や保育方針に基づき編成し、職員一人一人が保育指針や子どもの発達を踏まえて編成している。 • 保育理念や保育方針、教育・保育目標は各保育室に掲示し、意識して保育に当たれるようにしている。また、正門の掲示板や、各保育室前のテラスの掲示板にも掲示し、家庭との連携に努めている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㊐・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月に2回安全点検を行い園内外の安全を全職員で点検し、遊具や玩具などの不具合がないかを確認している。 • 子どもの体調管理に配慮し、快適に過ごせるよう職員全体で話し合い、周知しながら、清潔で安全な保育環境を整えている。 • 常に室内の換気を行い、感染症対策に心がけ、必要に応じて空調を使用し、快適に過ごせるようにしている。 • トイレは明るく清潔にし、子どもが安心して入りやすい環境にしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	㊐・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 月に2回安全点検を行い園内外の安全を全職員で点検し、遊具や玩具などの不具合がないかを確認している。 • 子どもの体調管理に配慮し、快適に過ごせるよう職員全体で話し合い、周知しながら、清潔で安全な保育環境を整えている。 • 常に室内の換気を行い、感染症対策に心がけ、必要に応じて空調を使用し、快適に過ごせるようにしている。 • トイレは明るく清潔にし、子どもが安心して入りやすい環境にしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	㊐・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 身の回りのことが自分でできるという喜びにつながるように受容と励ましの声をかけ、安心して取り組めるようにしている。 • イラストや写真などの視覚教材を用いて、やり方（手洗いの仕方・着脱の手順など）を分かりやすく伝えると 	

<p>共に一日の流れを提示しておくことで、見通しをもち、落ち着いて身の回りのことができるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 着替え時や身体発育測定時には男女分かれて行うようにしている。また、外から見えないよう、戸を閉める等の配慮をしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（４） 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが主体的に意欲的に遊ぶことができるようにするため、子どもたちが何に興味・関心をもっているかや、クラスの様子を職員間で話し合い、環境設定を行うようにしている。 保育士が誘導するのではなく、子どもたちの声を引き出し、相談しながら活動を決めていけるような言葉がけをしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（５） 乳児保育（０歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが主体的に意欲的に遊ぶことができるようにするため、子どもたちが何に興味・関心をもっているかや、クラスの様子を職員間で話し合い、環境設定を行うようにしている。 保育士が誘導するのではなく、子どもたちの声を引き出し、相談しながら活動を決めていけるような言葉がけをしている。 天気の良い日は戸外遊びができる時間を十分に確保するようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（６） ３歳未満児（１・２歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の生活リズムを把握し、安心できる環境を整え、安定した生活が送れるようにしている。 子どもの「自分で」という気持ちを受け止め、さりげなく援助しながら、「できた」という気持ちを味わえるようにしている。 登降園時や連絡帳を通じて、園や家庭での子どもの様子を伝え合い、家庭との連携を密にしている。また、必要に応じて懇談を行い、園での様子を細かく伝えるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅳ－２－（７） ３歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>㊤・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合ったふさわしい生活や必要な体験ができるように、それぞれの年齢で年案・月間・週間計画を立て、評価・反省を行いながら、保育の内容や方法に配慮している。 毎月月末に活動紹介を作成し、子どもの活動の様子を写真で保護者に知らせるようにしている。 	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達支援事業所アップル、医療機関など専門機関と連携し、助言を受けたり、加配保育士会、コーディネーター会などの研修等で知識を深めたりして保育に活かしている。 保護者と面談を行った上で、個別支援計画を作成し、一人一人の子どもの状況に応じた支援ができるようにしている。 正門及び遊戯室前には、車いすでも入れるようにスロープが設けられている。 	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏場は暑いため、水分補給ができるようお茶を用意している。また、眠くなってしまいう子には、布団を準備し体を休める環境を作っている。 早朝・延長保育で受けた連絡事項は、担当保育士が責任もって早朝延長記録票内の連絡事項の欄に記入し、保護者や担任に確実に伝わるようにしている。 家庭的でゆったり過ごすことができるようにしている。 	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者と送迎時や個別懇談等を通して、子どもの様子を伝え合い、就学に向けて見通しがもてるようにしている。 幼小連絡会を計画し、保育参観や授業参観等を通し、意見交流を行っている。保育所児童保育要録を作成、要配慮児には個別指導計画も添えて、連携を図っている。 就学を見通し、指導計画に基づいた保育を行っている。 	
改善できる点/改善方法：	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 登園時に健康チェックカードを確認しながら、一人一人の体調を把握し、職員間で共有している。体調の変化や怪我についてはすぐに応急処置を行い、保護者への連絡、または病院を受診するなどの対応ができるようにしている。 流行性疾患が開始したときには、職員間で共通理解すると共に、各保育室前のテラスの掲示板を利用し、保護者への情報提供を行っている。・SIDSに関する資料を職員に周知すると共に、午睡記録をつけ、午睡時の体調変化に速やかに対応できるようにしている。 	
改善できる点/改善方法：	

IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の内科・歯科健診、年1回の尿検査を行い、健診結果を書面で保護者に伝え、治療が必要な場合は受診を促している。結果は個別記録票に記載し、職員が把握できるようにしている。 ・5歳児は歯科衛生士による歯磨き指導を受け、正しい歯の磨き方を学んでいる。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、3歳以上児は給食後に適度な距離を保ちながらうがいを行っている。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全園児、入園時に幼児園生活管理指導表を提出してもらい、アレルギー疾患の有無を全職員で把握している。 ・アレルギーにより除去が必要な子には、幼児園生活管理指導表をかかりつけ医に提出し、必要事項を記入してもらうようにしている。また、成分表、献立表に基づいて、保護者、担任、給食担当、園長で毎月献立をチェックし提出し、把握している。また、全職員でアレルギーのある子について周知し、共通理解できるようにしている。 ・給食担当はアレルギー児の食器に名札をつけ、誤食がないようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育指導計画に基づき、毎月食事のマナーや好き嫌い無く食べることの大切さを、年齢に応じた視聴覚教材を用いて子どもたちに伝えている。 ・菜園活動を通して、野菜の生長を確認したり、収穫する喜びを体験することで、食材への興味・関心がもてるようにしている。 ・クラスだよりに、給食や菜園活動、その他の食育に関する取り組みについて記載、家庭に配布している。 	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㊦・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食検食簿を毎日記録し、給食・おやつ連絡会にて栄養士に味付けや量、問題点などを伝えている。 ・旬の食材、地場産食材、郷土料理、行事食が取り入れられており、給食を通して季節を感じたり他の地域の食文化に触れる機会となっている。 ・衛生管理マニュアルに基づき、消毒、給食検食、温度管理、マスクの着用などが適切に行われている。 	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 連絡帳（未満児）や送迎時に、一日の様子を記入したり、話したりして、家庭との連携を図っている。 各保育室前テラスにある掲示板に連絡事項を掲示し、知らせている。 毎月園だよりや活動紹介を配布し、子どもの日常の様子が分かるように知らせている。 保育参観、運動会、わくわく表現遊びを通して子どもの様子を参観してもらい、保護者と共に子どもの成長の喜びを共有できるようにしている。 	
改善できる点/改善方法：	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 送迎時に家庭や園での子どもの様子を伝え合い、コミュニケーションを図り、信頼関係を築けるようにしている。 随時、保護者からの相談に応じると共に、必要に応じて懇談を行っている。懇談日時は家庭の事情に配慮し、できるだけ保護者の都合に合わせてるように配慮している。相談内容は記録し、保育日誌や個別記録票にて保管している。 相談については、適切に対応できるよう、園長、主任等も共に考え、助言できるようにしている。 	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「児童虐待対応マニュアル」を職員会で周知し、共通理解のもとで対応できるようにしている。 着替えやオムツ替えの時に衣服の様子や体に変化がないかなど確認している。また、子どもの言動様子に変化がないか留意し、虐待の早期発見に努めている。 子育て支援課、子ども家庭総合支援拠点、保健センターなど関係機関と連携を図り、情報を共有し虐待防止に努めている。 	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㊤・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行い、自身の保育について振り返る時間を設けている。 公開保育や園内研修を行い、他保育士の保育を見ることや、自分の保育を見もらうことによって、保育の改 	

善や専門性の向上に努めている。 ・職員会などで、日々の保育における課題を話し合い、意見を出し合いながら、意識向上につながるようしている。
改善できる点／改善方法：

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-（1） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ、警察直通非常通報装置を設置し、常時不審者侵入に対応できるようにしている。 ・緊急時避難訓練の年間指導計画に基づき、2ヶ月に一度、不審者侵入等を想定した訓練を行っている。 ・正門や北門は常に閉門し、不審者侵入の対策をとっている。また、緊急時の保育士の役割分担がされている。 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-（1） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事表や園だより等で前もって行事を知らせ、保護者が予定を立てやすくしている。 ・各行事の詳細はその都度文書を配布し、全員に周知できるようにしている。 ・運動会やわくわく表現遊びに参加できなかった保護者には、別日に参観してもらおう機会をつくるようにしている。 	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ-2-（2） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	㊤・b・c
良い点／工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会が実施できるよう場の提供を行い、その間、子どもの保育を行っている。 ・保護者会と相談したり、意見交流をしたりしながら連携をとり、活動が進められている。 ・保護者会の意見を尊重して、職員が参加したり、協力したりしながら保護者会の活動実施されている。（ただし、ここ3年間は新型コロナウイルス感染症により、保護者会主催の行事は行っていない。） 	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-（1） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	㊤・b・c

良い点／工夫されている点：

- 幼小連絡会に参加し、子どもたちの園での様子や要支援児についての意見交流をしている。
- 就学に向けて、就学前には小学校と懇談を行い、年度末には保育所児童要録や個別支援計画書を送付し、連携を図っている。
- 公開保育では、小学校にも出席を依頼し、子ども の様子を参観してもらっている。
- 小学校教諭の新任研修（保育所研修）の受け入れも行っている。

改善できる点／改善方法：